（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2026/2/9	～	2026/3/13	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32	（回答者数）	25
○従業者評価実施期間	2026/2/9	～	2026/3/13	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/25			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員1名に対し子ども2名までの少人数体制を活かし、一人ひとりに応じたきめ細かな支援を行っている。 子ども一人ひとりの特性や課題に応じた個別支援計画を作成し、安心して通所できる環境づくりを行っている。 子どもが安心して過ごしやすいよう、落ち着いた環境づくりやわかりやすい支援を意識している。	日々の関わりの中で子どもの小さな変化や様子を把握し、職員間で共有したうえで支援内容に反映している。 子どもの特性や保護者の意向を踏まえ、無理のない目標設定と、安心して取り組める支援の流れを意識している。 支援中に気付いたことや保護者からの情報を職員間で共有し、関わり方や支援内容の統一を図っている。	今後も記録と情報共有を丁寧に行い、子どもの状況や成長に応じて柔軟に支援内容を見直している。 保護者との共有をより丁寧に行い、子どもの成長や状況の変化に応じて支援計画の内容を充実させていく。子ども一人ひとりにとってよりわかりやすい環境となるよう、視覚支援や環境設定の工夫をさらに進めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故や災害時の対応体制は整備しているが、保護者への情報共有が十分とはいえない。 公表している支援プログラムと実際の活動とのつながりが、保護者に十分伝わっていない面がある。 保護者同士やきょうだいが交流できる機会が少ない。	利用開始時には説明を行っているが、その後に改めて周知する機会が少なく、継続的な情報発信が不足しているため。 日々の支援は行っているが、活動のねらいや支援プログラムとの関連について具体的に説明する機会が少ないため。 日々の支援は実施しているが、進捗や達成状況を継続的	おたよりや掲示、面談等を通じて、安全対策や訓練実施状況について定期的に情報発信を行っていく。 活動内容だけでなく、支援の目的や計画とのつながりについても、わかりやすく丁寧に伝えられるよう工夫していく。 保護者会や交流の機会について、実施方法や内容を検討し、無理のない形で取り入れていく。